

海陽町第3期教育振興計画策定委員会（第2回）

議事録

日 時：令和3年2月8日（月） 13：00～13：55

場 所：海南文化館 大会議室

出席者：委員10名中8名出席（別紙名簿参照）

事務局：（担当課）海陽町教育委員会 三浦教育長、森崎教育次長、浦川氏
（受託者）リージョナルデザイン株式会社 安孫子、佐々木

【会議次第】

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 教育長あいさつ
- 4 議事
 - (1) 計画素案について
 - (2) パブリックコメントの実施について
 - (3) その他
- 5 閉会

【議事進行】

■議事1 計画素案について

・事務局から説明

（委員長）

ただ今の事務局の説明につきまして、何かご意見ご質問等ございましたら、よろしくお願
いします。

（佐藤委員）

言葉の訂正ではありませんが、グローバルという言葉がよく出てきます。グローバルとい
うことで、先進的な取組として欠かせないかと個人的にも考えてきましたが、最近マイナス
面が目立ってきていると思っています。例えば、グローバルが進むごとに格差が広がってい
くとか、多様性がなかなか実現されないとか、いくつかの弊害も出てきていると感じます。
そういう点もあることを認識したうえで進めていくことが大事かと思えます。

（事務局）

計画の目標として、マイナス面も包括しながら、理想像をしっかりと文言で描きたいと思

ます。グローバルと表記している文章について、マイナス面が具体的にどういうところに影響があるかをもう一度検証して、再考したいと思います。

(委員長)

よろしいでしょうか。私が考えるには、グローバルに対して、最近グローバルという見方、観点、視点というのがあります。ただ単にグローバルだけではということですね。

(教育長)

さきほどの格差というのは、何の面で出てくるのでしょうか。教育面でしょうか。

(佐藤委員)

経済的な要素が強いかと思います。それを認識していることが必要なのかなということです。コロナもグローバル化によって広がったものの一つかと思います。

(長尾委員)

私もグローバルには懸念があります。ツールとしてネットでつながるとか、外国語を使って他と交流できる等が進んでグローバルというのは良いのですが、子どもたちが海陽町で育ったとか、祭りをしたとか、地元で根差したグローバルでないといけないと思います。様々な国の人との会話の中で「あなたの国・海陽町はどういうところ？」となった時、「海陽町はこういうところですよ」とすぐに言葉にできるような教育をして、はじめてグローバルが生きてくると思います。ツールとしてのグローバルは進めてほしいですが、根幹の部分では、自分が生まれた場所に誇りをもてる教育が大事かなと捉えています。

(事務局)

ケンブリッジ大学出版(グラマー)の英語の教科書でも、最初に必ず学習するのはアイデンティティです。いろんな人たちが学びにきている中で、自分のところはどうかをきちんと語れないといけません。さきほどおっしゃられたことは、とても大切だと思います。

(委員長)

重要な部分をお話して頂きました。他にございませんか。

(委員長)

意見がないようでしたら、委員会として、この計画素案を承認してよろしいでしょうか。

※異議なし

(委員長)

それでは承認ということで進めたいと思います。ありがとうございました。

■議事2 パブリックコメントの実施について

・事務局から説明

(委員長)

このことにつきまして、もう少しこうしたらいいのではないかというご意見などございましたら、よろしく申し上げます。よりよい住民からの意見が集まったらいいのではと考えます。いかがでしょうか。

(長尾委員)

ホームページ上ですぐに素案が閲覧できるように、QR コード等をつけるなど工夫すると便利かと思います。

(事務局)

分かりました。

(委員長)

利用しやすいように、よろしく申し上げます。他にございませんか。

(乃一委員)

文化財の件ですが、各種の祭り(※)をリストアップして、海陽町を発信・売り出してほしいです。旧宍喰町は無形文化財などの登録ができていて素晴らしいと思いますが、旧海南町・旧海部町は弱い感じがします。祭りなどを文化財に登録することも含めて検討して頂きたいと思います。

※大里八幡神社(徳島県下でも勇壮な祭りの一つ)、宍喰の祇園さん、轟神社(神様と仏様の神輿が出る)、湊柱神社(赤ちゃんの土俵入り)、船だんじり(関船)

(教育長)

町には、文化財保護審議会というものがあります。頂いたご意見をあげていきたいと思えます。

(委員長)

表記の問題ですが、文化財のリストに、地区名が抜けているところがあります。また、同一の地区名は、「〃」を使った方が見やすく区別しやすいと思います。地元の素晴らしい文

化を整理して、発信して頂ければと思います。

(教育長)

いままで、このように文化財を一覧にした資料がありませんでしたので、当計画に掲載することで、広く町民の方に周知することにつながると考えています。

(長尾委員)

それでしたら、地区の誤りも散見されますので、訂正して頂きたいと思います。

(事務局)

文化財のページは現在、学芸員の方から文化財巡りツアーなどの資料の提供を受けて、一覧表も含めて差し替える予定にしています。

(教育長)

はじめての試みということですが、早く正確なものを出して頂きたいと思います。

■議事3 その他について

・事務局から説明

パブリックコメント：2月24日（水）～3月3日（水）

次回策定委員会：3月5日（金）13：00～

(委員長)

何かこの機会にございませんか。

(長尾委員)

パブリックコメントを3月3日まで受け付けて、これを取り入れた計画作成を2日ですのででしょうか。

(事務局)

パブリックコメントについては、利害関係がある方から意見が出た場合は修正等の対応を検討することもあります。基本的には、ご意見に対して、当計画はこういう考えてまとめましたというお答えをすることになります。

(委員長)

さきほど説明がありましたが、意見が出たからこう変えるのではなく、意見に対してこちらから説明するということですね。

(教育長)

基本理念と重点目標については、大きく見直しをしております。時間的に、町長と教育委員と十分に調整・共有が図れていないところがありますので、今後一部変更になることがあるかもしれません。パブリックコメントの期間中に、皆さまから書面でご意見を頂くことになっていますが、どうぞよろしくお願いいたします。

(委員長)

こちらについても、皆さまからご意見を頂きたいと思います。それでは、以上をもちまして、本日の委員会を終了いたします。ご協力、ありがとうございました。

閉会